高知	知工業高等	等専門学校	開講年度	令和05年度	(2023平/支)	投耒	科目	建築設計演習(1)	
科目基			,		-,		-		
科目番号		9021		科目区分	科目区分 専門 / 選択				
授業形態	Ĕ,	演習	演習			位の種別と単位数 学修単位:		2	
開設学科	4		レデザイン工学専巧	対象学年	専1				
開設期		通年			週時間数	1			
教科書/勃	教材	験スーパ-	、配布。参考書:Ŀ -7]	3版コンパクト建築	版コンパクト建築設計資料集成」,総合資格学院「'2021 2級建築士試				
担当教員		三橋 修							
到達目									
2. 設計3. 建築	課題の重要を 手法を学び, 士学科試験の	,自ら実践,検	し、解決すること 討を加えることが 把握し,解くこと	^バ できる。					
ルーブリック					I#3646 1 703 1				
			理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目数 		未到達レベルの目安	
評価項目1			設計課題の設計 それに対する解 ンセプトを創造	ナ上ポイント抽出と 解決ができ、設計コ 設計課題の設計上が きすることができる それに対する解決が				設計課題の設計上ポイント抽出と それに対する解決ができない。	
評価項目2			を加えることができる。			る。		設計手法を学び、実践、検討を加えることができない。	
評価項目3				問題の出題傾向を 多くを解くことた			建築士学科試験問題の出題傾向を 把握できない。		
<u>学科</u> の	到達目標	項目との関係							
学習・教	対育目標 (C)) E力 基準1(2)(c	1)(3)						
<u> </u>	•	比/J	1)(3)						
概要		建築設計を	・ ・体験的に学ぶたぬ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	りに自主性を重視の制図課題に取り	した設計課題に取り	組み、設計	ナコンセ 反すこと	プト,設計力,提案力を養う。具体により、設計力,提案力を養う。具体により、設計理算を解決するための	
אינוען.		実践力を真	型ムの産業工品級の 身につける。その中]ミュニケーション	り表因味過に取り 中で、自然や社会 レを計りながら協	組み、自り創造し設 などを含む周囲の環 同して学習体験をお	境への影響 こなう。	響を配慮	し、問題解決能力を学生自らが培い	
	並 め方・方法	建築士試験 図課題に対 実務に応用	険の建築計画、建築 付して設計上のポイ 目できる専門基礎矢	整法規などの学科 イント、設計手法 ロ識習得や迅速性	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習	い、模擬記 。 を行う。	式験を通	プト,設計力,提案力を養う。具体により,設計課題を解決するためのし,問題解決能力を学生自らが培いして学科試験を学習する。過去の製	
	₤め方・方法	建築士試験 図課題に対 実務に応用 実務に応用	険の建築計画、建築 付して設計上のポイ 目できる専門基礎矢	終法規などの学科 イント、設計手法 ロ識習得や迅速性 引基礎知識として	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習	い、模擬記 。 を行う。	式験を通		
授業の進 注意点 授業の	属性・履	建築士試駅 図課題に対 実務に応用 実務に応用 とめ方、フ	鉄の建築計画、建築 対して設計上のポー 目できる専門基礎集 目できる幅広い専門 プレゼン等から総合	終法規などの学科 イント、設計手法 ロ識習得や迅速性 引基礎知識として	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習 到達目標に対する達	い、模擬記。 を行う。 成度、課題	式験を通	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま	
授業の進 注意点 授業の		建築士試駅 図課題に対 実務に応用 実務に応用 とめ方、フ	命の建築計画、建築 対して設計上のポー 目できる専門基礎矢 目できる幅広い専門	終法規などの学科 イント、設計手法 ロ識習得や迅速性 引基礎知識として	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習	い、模擬記。 を行う。 成度、課題	式験を通	して学科試験を学習する。過去の製	
授業の進注意点 授業の □ アク	属性・履	建築士試駅 図課題に対 実務に応用 実務に応用 とめ方、フ	鉄の建築計画、建築 対して設計上のポー 目できる専門基礎集 目できる幅広い専門 プレゼン等から総合	終法規などの学科 イント、設計手法 ロ識習得や迅速性 引基礎知識として	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習 到達目標に対する達	い、模擬記。 を行う。 成度、課題	式験を通	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま	
授業の進 注意点 授業の	属性・履	建築士試験図課題に対実務に応用とめ方、ご	競の建築計画、建築 付して設計上のポイト 目できる専門基礎を 目できる幅広い専門 プレゼン等から総合	終法規などの学科 イント、設計手法 ロ識習得や迅速性 引基礎知識として	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習 到達目標に対する達	い、模擬記。 <u>を</u> 行う。 成度、課題	頭に対す	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま □ 実務経験のある教員による授業	
授業の進注意点 授業の □ アク	属性・履	建築士試験図課題に対実務に応用をめ方、ご	競の建築計画、建築付して設計上のポペート できる専門基礎を用できる幅広い専門プレゼン等から総合 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ジェス説明[1]:	経法規などの学科 イント、設計手法 口識習得や迅速性 引基礎知識として 合的に評価する。	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習 到達目標に対する達	い、模擬記念を行う。成度、課題	武験を通ります。	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのま □ 実務経験のある教員による授業	
授業の進注意点 授業の □ アク	属性・履	建築士試験図課題に対実務に応用をめ方、ことの方、ことの区分ニング	競の建築計画、建築付して設計上のポペートできる専門基礎を用できる幅広い専門プレゼン等から総合 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ 受業内容 □ ジラバス説明[1]: 態を学習する。学科問題 - 計画 「2	経法規などの学科 イント、設計手法 日識習得や迅速性 引基礎知識として 合的に評価する。 講義,実習,制化 2-13]建築計画に	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習 到達目標に対する達 □ 遠隔授業対応 「「「「「「」「「」「「」「「」「」「「」「」「」「」 「「「」「「」「「」「	い、模擬記。を行う。 成度、課題 可ごとの3 で変異形態を を変ける。	武験を通 関に対す 到達目標 を説明で	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのま □ 実務経験のある教員による授業	
授業の進注意点 授業の □ アク	属性・履	建築士試験国際に応用をある方、対象に応用をある方、対象に応用をある方、対象に応用をある方、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	会の建築計画、建築 対して設計上のポイン 目できる専門基礎を 目できる幅広い専門プレゼン等から総合 □ ICT 利用 受業内容 シラバア習する。 学科問題の内容を発送する 学科問題の内容を発送する。 学科問題の内容を発送する。 学科問題の方容を発送する。	経法規などの学科 イント、設計手法 日識習得や迅速性 引基礎知識として 合的に評価する。 講義,実習,制 2-13]建築計画に 学習し演習を行う 2-13]建築計画に 2-13]建築計画に	試験問題の分析を行 や問題解決法を学ぶを目指して設計実習 到達目標に対する達 団 遠隔授業対応 「を繰り返す授業形 関する建築士学科」 関する建築士学科」	い、模擬記。を行う。 成度、課題 ごとの3 業 築計画の 建きる築計画の	武験を通 関に対す 到達目標 を説明で に関する	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み,解決策の内容,そのままない。 「実務経験のある教員による授業できる。	
授業の進 注意点 授業の □ アク	属性・履	建築士試覧図課題に応用をめた。これを対しては、これをは、これを対しては、これを対しては、これを対しては、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	競の建築計画、建築 対して設計上のポイン 用できる専門基礎を 目できる幅広い専門プレゼン等から総合 □ ICT 利用 □ ICT 利用 受業内容 ジラブ学習ー計画。 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を 学科問題の内容を	経法規などの学科 イント、設計手法 田識習得や迅速性 引基礎知識として 合的に評価する。 講義, 実習, 制化 2-13]建築計画に ジョン演習を行う 2-13]建築計画に ジョン演習を行う 2-13]建築計画に ジョン演習を行う 2-13]建築計画に	試験問題の分析を行や問題解決法を学ぶを目指して設計実習到達目標に対する達到達目標に対する達」 遠隔授業対応 「「」」 遠隔授業対応 「「」」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	い、模擬語。を行う。 成度、課題 ご 業 築る 築る 築る 禁る 計画 (建き 建き まき)	武験を通 関に対す 到達目標 を説明で に関する	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのままま務経験のある教員による授業できる。 「建築士学科試験問題を解くことができる。」	
授業の進 注意点 授業の □ アク	属性・履	建築士試に対実務に応用を対している。 建築士試に対実務に応用を対している。 実務に応用を対している。 を上の区分の区分のである。 は、対策を対している。 は、対策を対し	会の建築計画、建築 対して設計上のポペー 用できる専門基礎を 用できる幅広い専門プレゼン等から総合 「ICT 利用」 「ICT 利用」 受業内できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所	経法規などの学科 イント、設計手法 田識習得や迅速性 引基礎知識として 計算を 計算を 計算である。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	試験問題の分析を行や問題解決法を学ぶを目指して設計実習到達目標に対する達到達目標に対する達」 「遠隔授業対応」 「「「」」 「ないまでは、ないまでは、できます。 「関するは、単一では、できます。」 「関するは、単一では、できます。」 「関するは、単一では、できます。」 「関するは、単一では、できます。」 「関するは、単一では、できます。」 「はいまでは、できます。」 「はいまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは、いまでは	い、模擬記を行う。 成度、課題では、 と	武験を通 到達目標 でに に 関すする ここに に 関する ここれ に に とり はんしん こうしん いいしん かいしん いいしん いいしん いいしん いいしん いいしん いい	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのま 国実務経験のある教員による授業できる。 は選集士学科試験問題を解くことができる。 は選集士学科試験問題を解くことができる。	
授業の進 注意点 授業の □ アク	属性・履 ティブラー: 画	建築士試に文 理際語に応用 実務に応用 実務に応用 他上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6月 6月 6月 6月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	会の建築計画、建築 対して設計上のポペー 別できる専門基礎を 目できる幅広いら総合 目できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できる幅広いら総合 同できるにより、 一回にて利用 一回にて利用 の内には、 一回には、	経法規などの学科(インス) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	試験問題の分析を行いたけ問題解決法を学ぶを目指して設計実習到達目標に対する達到達目標に対する達」 「「「「」」」 「」」 「」」 「」 「」 「 「 「 「	い、 を が 成	武験を通到達目標では、に関するに、に、関すると、に、に、に、に、に、これに、これに、これに、これに、これに、これに、これに、こ	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み,解決策の内容,そのままま務経験のある教員による授業できる。 「きる。 「3建築士学科試験問題を解くことがでいる。 「3建築士学科試験問題を解くことがでいる。 「3建築士学科試験問題を解くことがでいる。」 「3建築士学科試験問題を解くことがでいる。」	
授業の進 注意点 授業の □ アク	属性・履 ティブラー: 画	建築士試に文 理楽士試に文 実務に応り を上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 6週 7週 7週 7週 7月	会の建築計画、建築 対してきる専門基礎を 目できる幅広いら総合 目できる幅広いら総合 目できる幅広いら総合 日できる幅広いら総合 日できる幅広いら総合 日できる幅広いら総合 日できる場所にして利用 日できる幅広いら総合 「ICT 利用 受業 八 ア で 関	経法規などの学科 (注) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記	試験問題の分析を行びたけ問題解決法を学ぶを目指して設計実習到達目標に対する達到達目標に対する達」 「「「」」」」 「」」」 「」」 「」」 「」 「」 「「」 「」 「 「	い、を行う。 成度、課題 では、 関連 では、 関連 では、 関連 では、 関連 では、 関連 では、 関連 では、 関係 では	武験を通到を記している。 到を記りまする。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのま □ 実務経験のある教員による授業できる。 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで	
授業の進 注意点 授業の □ アク	属性・履 ティブラー: 画	建築士武に応用 建築士武に応用 実務に応用 実務に応用 を上の区分 二ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 7週	会の建築計画、建筑で建設計画、建筑できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所できる場所	経法規などの計画を (学習) は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	試験問題の分析を行ぶ や問題解決法を学ぶ を目指して設計実習 到達目標に対する達 」 遠隔授業対応 「を繰り返す授業形 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。	い。 を 成 成 	武験を通到をににには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのままできる。 は要生学科試験問題を解くことができる。 は建築士学科試験問題を解くことができる。 は建築士学科試験問題を解くことができる。 は建築士学科試験問題を解くことができる。 は建築士学科試験問題を解くことができる。	
授業の進注意点 授業の 日本 アク・授業計	属性・履 ティブラー: 画	建築士武に応用 建築士武に応用 実務に応用 実務に応用 を上の区分 二ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週 8週 8週 8週 8回	競の建設計画、建筑を 対してきる場合を 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関できると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 関のできると 対のできると 関のできると 対のできると はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを はのでを	経法規などの計画性である。 「は、そのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	試験問題の分析を行ぶ 時間題解決法を学ぶ を目指して対する達 到達目標に対する達 □ 遠隔授業対応 「を繰り返す授業形 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する。 関本の。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い。を 成 週 授 建き 建き 建き 建き 建き 建き 建き 建き 建き 建き	武験を通 到をににににには 登望 関関関関関関関関関関関関関関関関関 関関関	して学科試験を学習する。過去の製る取り組み、解決策の内容、そのま □ 実務経験のある教員による授業できる。 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで 3建築士学科試験問題を解くことがで	
授業の進注意点 授業の 日本 アク・授業計	属性・履 ティブラー: 画	建築 建築 東 東 東 を 上の で 上の で 上の の で 上の の の の の の の の の の の の の の	会の建設計画、建筑で建設計画、建筑で建設計画、建筑で建設計画、のでででです。	経法規など計画を持ち、制御を持ち、	試験問題の分析を行ぶ 時間題解決法を学ぶ を目指して対する達 到達目標に対する達 到達目標に対する達 □ 遠隔授業対応 「を繰り返す授業形 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する建築士学科。 関する。 、 、 関する。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い。を成 週 授 建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建	武験を対す をににににににいる をにににににいる できまり 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま □ 実務経験のある教員による授業 できる。 の建築士学科試験問題を解くことがで のは、対策を関連を解しています。	
授業の進注意点 授業の 日本 アク・授業計	属性・履 ティブラー: 画	建築 建築 東	競力した。 一型では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	経大・2・13 は、	試験問題の分析を行ぶできる。 対験問題解決法を学ぶできます。 対するを目指して対するを 到達目標に対する達 対する。 関する。 関する。建築士学科。 関する。建築士学科。 関する。建築士学科。 関する。 関する。 関する。 関する。 関する。 建築士学科。 関する。 関する。 関する。 関する。 関する。 関する。 関する。 建築士学科。 関する。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い。を成 週 授 建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き建き 建き はき 建き 建き 建き 建き 建き 建き 建き 建き はき はき はき はき はき はい がっかい しん 形 計。 計。 法。 法。 法。 構。 構。 施。 擬。 課 の 態 画 画 風 規 規 規 造 造 工 に	武験を対す をににににににいる ではなる はいまれる はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま □ 実務経験のある教員による授業 できる。 の建築士学科試験問題を解くことがで	
授業の進注意点 授業の 日本 アク・授業計	属性・履 ティブラー: 画	建築 (東京) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (競力した。	経大ン部 (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	試験問題の分析を行ぶできます。 対験問題解決法を言語して対する達 対達目に対する。 対する。 対対が 対対が 対対が 対対が 対対が 対対が 対対が 対	い。を成 週 授 建き	武り で に に に に に に に に に に に に に に に に に に	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま □ 実務経験のある教員による授業 できる。 の建築士学科試験問題を解くことがで	
授業の進注意点 授業の 日本 アク・授業計	属性・履 ティブラー: 画 1stQ	建製集	競力 できる	経大ン間 報告 では、	試験問題の分析を行ぶできます。 対験問題を対析を言語して対する 対域を目指して対する 対域を見がしては、 対する 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対しては、 対域を対域を対し、 対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	い。を成 週 授 建き	武り で に に に に に に に に に に に に に に に に に に	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま □ 実務経験のある教員による授業 できる。 の建築士学科試験問題を解くことがで	
授業の進注意点 授業の 日本 アク・授業計	属性・履 ティブラー: 画 1stQ	建盟 (本)	競力 できる	経大ノ間 基 付 にう	試験問題の分析を行ぶできます。 対験問題の分析を行ぶできます。 対するを繰り返す授業が に対する建築士学科。 関するる建築士学科。 関するる建築士学科。 関するる建築士学科。 関するる建築士学科 リカー・関するる建築士学科・関するる建築士学科・関するる建築士学科・関するる建築士学科・関するる建築士学科・関するる建築士学科・関するる建築士学科・関するるは、対策問題より課するは、対策問題より課する。 は、対策問題より課する。 は、対策問題より課する。 は、対策問題より課する。 は、対策問題よりませら	い。を成 週 授 建き	式、堕、一到をにににににににににた験に、対すとは、関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関調通すすすすすすすすす	して学科試験を学習する。過去の製 る取り組み,解決策の内容,そのま □ 実務経験のある教員による授業 できる。 の建築士学科試験問題を解くことがで	

		16週						
	3rdQ	1週	設計課題1[1-7]設 問題解決手法を学び	計課題1の設計上の 、計画,設計実習	Dポイントに対し を行う。	設計課題1の設計 , 計画, 設計を行	上のポイントに対 うことができる。	し問題解決ができ
		2,03	設計課題1[1-7]設 問題解決手法を学び	、計画,設計実習	を行う。	計課題1の設計上の , 計画, 設計を行	うことができる。	
		3週	設計課題1[1-7]設 問題解決手法を学び	計課題1の設計上の 、計画,設計実習	Dポイントに対し を行う。	計課題1の設計上の , 計画, 設計を行っ	のポイントに対し うことができる。	問題解決ができ
		4週	設計課題1[1-7]設 問題解決手法を学び	計課題1の設計上の 、計画,設計実習	Dポイントに対し を行う。	計課題1の設計上の , 計画, 設計を行	のポイントに対し うことができる。	問題解決ができ
		5週	設計課題1[1-7]設 問題解決手法を学び	計課題1の設計上の 、計画,設計実習	Dポイントに対し を行う。	計課題1の設計上の ,計画,設計を行	のポイントに対し うことができる。	問題解決ができ
		6週	設計課題1[1-7]設 問題解決手法を学び	計課題1の設計上の 、計画,設計実習	Dポイントに対し を行う。	計課題1の設計上の ,計画,設計を行	のポイントに対し うことができる。	問題解決ができ
		7週	設計課題1[1-7]設 決プロセスに関する	計課題1の設計コン プレゼンを行う。	セプトと問題解	設計課題1の設計コるプレゼンができる]ンセプトと問題的 る。	解決プロセスに関す
後期		8週	設計課題 2 [8-15]2 課せられた設計課題 トを学習をする。	級建築士製図試験 2の内容を学習し,	■九計 トかせ ノヽ.	新たに課せられたi のポイントが説明 ⁻	設計課題2の内容と できる。	と関連法規,設計上
	4thQ	9週	設計課題2[8-15]設 問題解決手法を学び	計課題2の設計上の 、計画,設計実習)ポイントに対し を行う。	設計課題2の設計上 , 計画, 設計を行)問題解決ができ
		10週	設計課題2[8-15]設 問題解決手法を学び	計課題2の設計上の 、計画,設計実習		設計課題2の設計上 , 計画, 設計を行	このポイントに対し うことができる。	J問題解決ができ
		11/2	設計課題2[8-15]設 問題解決手法を学び	[、] ,計画,設計実習	を行う。	設計課題2の設計上 , 計画, 設計を行	このポイントに対し うことができる。)問題解決ができ
		12週	設計課題2[8-15]設 問題解決手法を学び	計課題2の設計上の 、計画,設計実習)ポイントに対し を行う。	設計課題2の設計上 , 計画, 設計を行)問題解決ができ
		13週	設計課題2[8-15]設 問題解決手法を学び	[、] ,計画,設計実習	を行う。	設計課題2の設計上 , 計画, 設計を行)問題解決ができ
		1 1/23	設計課題2[8-15]設 問題解決手法を学び	、計画,設計実習	を行う。	設計課題2の設計上 , 計画, 設計を行	うことができる。	
		15週	設計課題2[8-15]設 決プロセスに関する	計課題2の設計コン プレゼンを行う。	マプトと問題解	設計課題2の設計コ]ンセプトと問題的 る。	解決プロセスに関す
		16週						
	1アカリキ		学習内容と到達				1	1
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	票			ベル 授業週
評価割合		·A		40 T = 17 / T	北京	1-2 1	7 O /th	Δ=1
試験 ※会証研制会 0		夾	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合 0			0	0	0	85 15	15 15	30
基礎的能力 0 専門的能力 0			0	0	0	35	0	35
等的形形力 0 分野横断的能力 0			0	0	0	35	0	35
ノノまが供四巾!	ר/אוני 🕜		Ι ^U	Įυ	IO	ردا	ĮΨ	ردر